

容量市場 メインオークション募集要綱 提出様式 補足説明資料

2019年11月
電力広域的運営推進機関

本資料は、メインオークション募集要綱の意見募集にあたって
募集要綱の提出様式について補足説明する資料であり、
意見募集の対象ではありません。

ご意見をいただく際のご参考にしてください。

- 本資料は、メインオークション募集要綱における提出様式について補足説明するものです。
- 提出様式には以下の3種類があります。
 - （様式1）容量市場への参加登録申請に伴う誓約書
 - （様式2）期待容量等算定諸元一覧
 - （様式3）発動指令電源のビジネスプラン申請書
- 次頁以降で補足説明をいたします。

■ 提出様式の概要、提出が必要な事業者、提出タイミングは以下のようになります。

提出様式	概要（参考箇所）	提出が必要な事業者	提出タイミング
（様式1） 容量市場への 参加登録申請 に伴う誓約書	容量市場へ参加登録するにあたり、募集要綱の遵守等を誓約していただく書類。 事業者情報登録時に提出が必要。 （容量市場メインオークション募集要綱概要説明資料P23）	容量市場への参加を希望する全ての事業者	・事業者 情報登録
（様式2） 期待容量等 算定諸元一覧	安定電源・変動電源の期待容量、応札容量、アセスメント対象容量を算出するために用いる書類。 発電方式によって提出すべき様式が異なる。 期待容量登録時と、応札時の2回、提出が必要。 （容量市場メインオークション募集要綱概要説明資料P34） 次頁以降で詳細説明	安定電源、変動電源の 応札を希望する事業者	・期待容量登録 ・応札
（様式3） 発動指令電源 のビジネスプラン 申請書	発動指令電源の期待容量算出根拠を明示する書類。 期待容量登録時に提出が必要。 （容量市場メインオークション募集要綱概要説明資料P34）	発動指令電源の 応札を希望する事業者	・期待容量登録

■ 以降で『(様式2) 期待容量等算定諸元一覧』について補足説明をいたします。

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明の概要

1. 発電方式に応じた期待容量・応札容量・アセスメント対象容量の算定区分
2. 期待容量の算定方法
 - 安定電源 (純揚水を除く)
 - 変動電源
 - 安定電源 (純揚水)
3. 応札容量の算定方法
 - 安定電源 (純揚水を除く)
 - 変動電源
 - 安定電源 (純揚水)
4. アセスメント対象容量
 - 安定電源 (純揚水を除く)
 - 変動電源
 - 安定電源 (純揚水)
5. その他

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

1. 発電方式に応じた期待容量等の算定区分

- 発電方式に応じて、期待容量の算定、応札容量の算定、アセスメント対象容量については、以下の3つのグループに分けられます。
- 各グループの、期待容量の算定、応札容量の算定、アセスメント対象容量について以降で説明します。

電源種別	発電方式	安定電源(純揚水を除く)	変動電源	安定電源(純揚水)
水力	一般水力(貯水式)	○		
	一般水力(自流式)	○ ※1	○ ※1	
	揚水(純揚水) ※2			○
	揚水(混合揚水) ※2	○		
火力	LNG、石油、石炭、LPG、 その他ガス、瀝青質混合物	○		
原子力		○		
新エネルギー等	風力		○	
	太陽光		○	
	地熱	○		
	バイオマス	○		
	廃棄物	○		

※1：ダム水位から供給力を算定している場合および調整係数に調整能力を加算している場合は安定電源、それ以外の場合は変動電源となります。

※2：上池への流入量等で区分されます。

（様式 2） 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

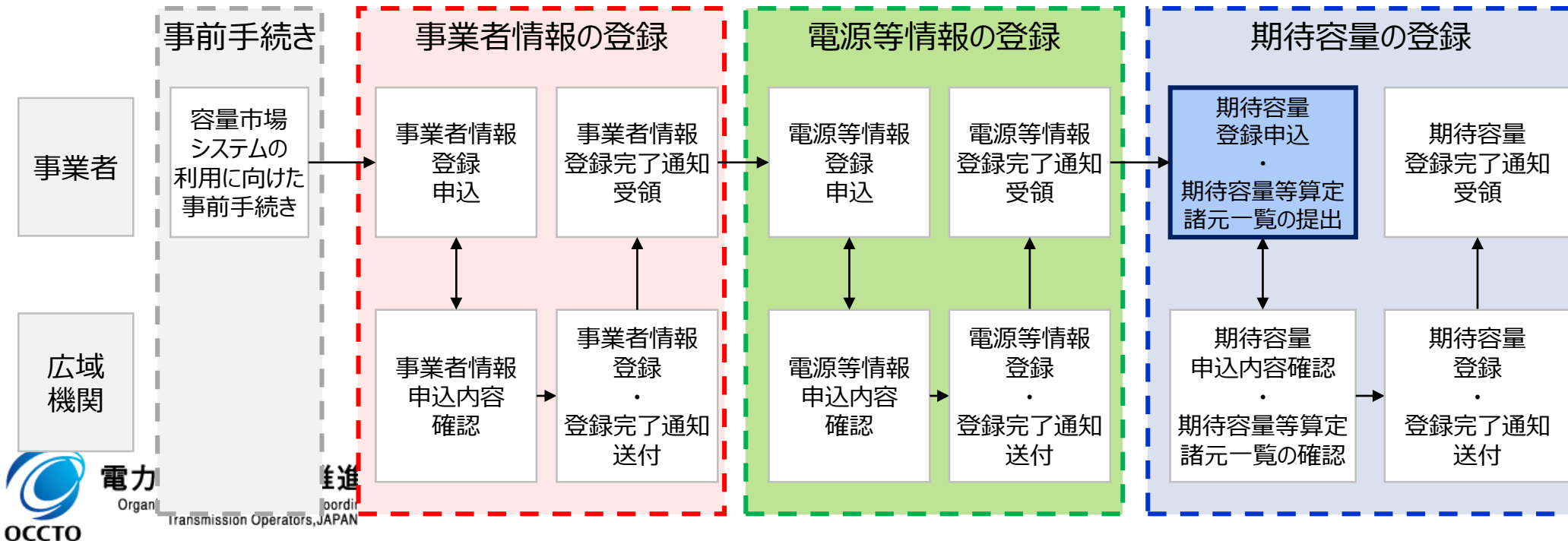
期待容量の算定

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

2. 期待容量の算定方法

- 安定電源・変動電源の期待容量の登録に当たっては、メインオークション募集要綱 様式2の『期待容量等算定諸元一覧』を用いて、応札する電源の期待容量（年間一律）を算定して下さい。
- 『期待容量等算定諸元一覧』に必要な項目を設定すると、期待容量が自動計算されます。詳細は後述します。
- 安定電源・変動電源の参加登録申請者は、自動計算された期待容量および算定に用いた『期待容量等算定諸元一覧』を容量市場システムに登録してください。（登録期限は、2020年5月21日です）
- 容量市場システムに登録された期待容量と『期待容量等算定諸元一覧』の入力内容に不整合がある場合や、『期待容量等算定諸元一覧』の入力内容が不適切な場合、期待容量が登録できませんのでご注意ください。

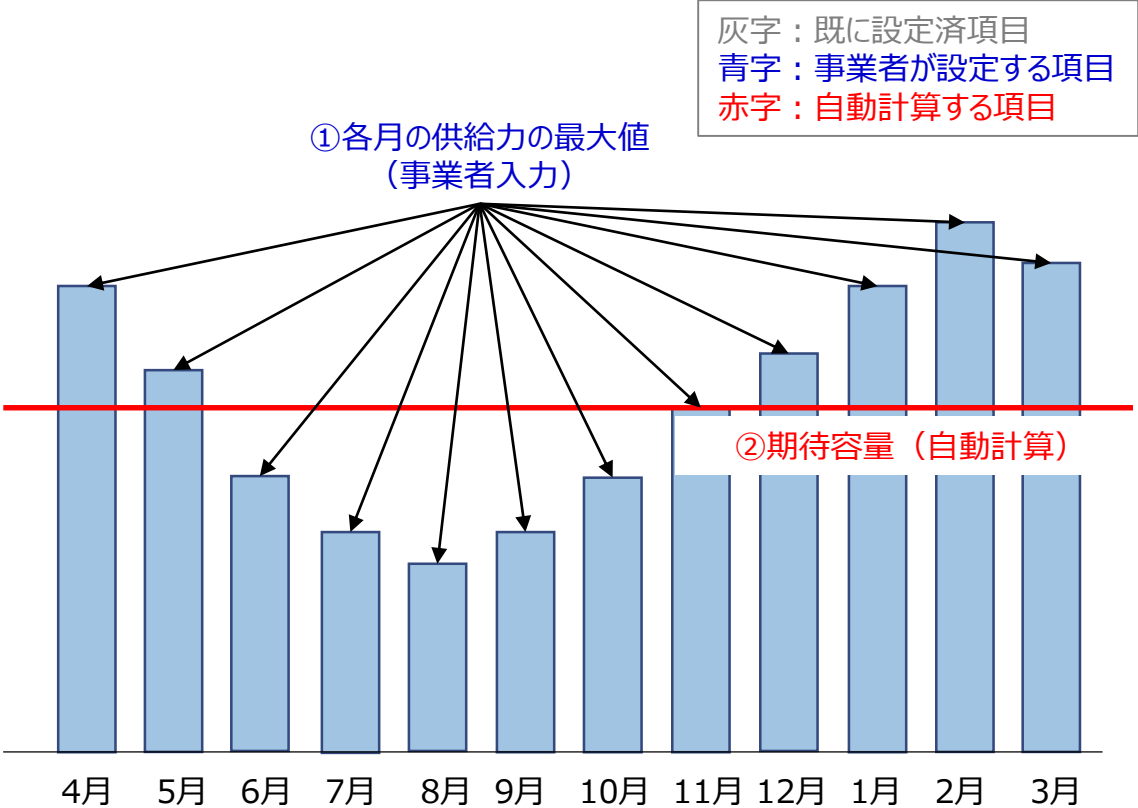
【凡例】 本資料での説明対象



(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

2. 期待容量の算定方法【安定電源（純揚水を除く）】

- 「各月の供給力の最大値」を『期待容量等算定諸元一覧』に入力していただくことにより、期待容量が自動計算されます。
- 「各月の供給力の最大値」については、「設備容量」から「所内消費電力」、「大気温の影響による能力減少分」を差し引いた値を入力して下さい。補修等に伴う出力減少分は、差し引きません。



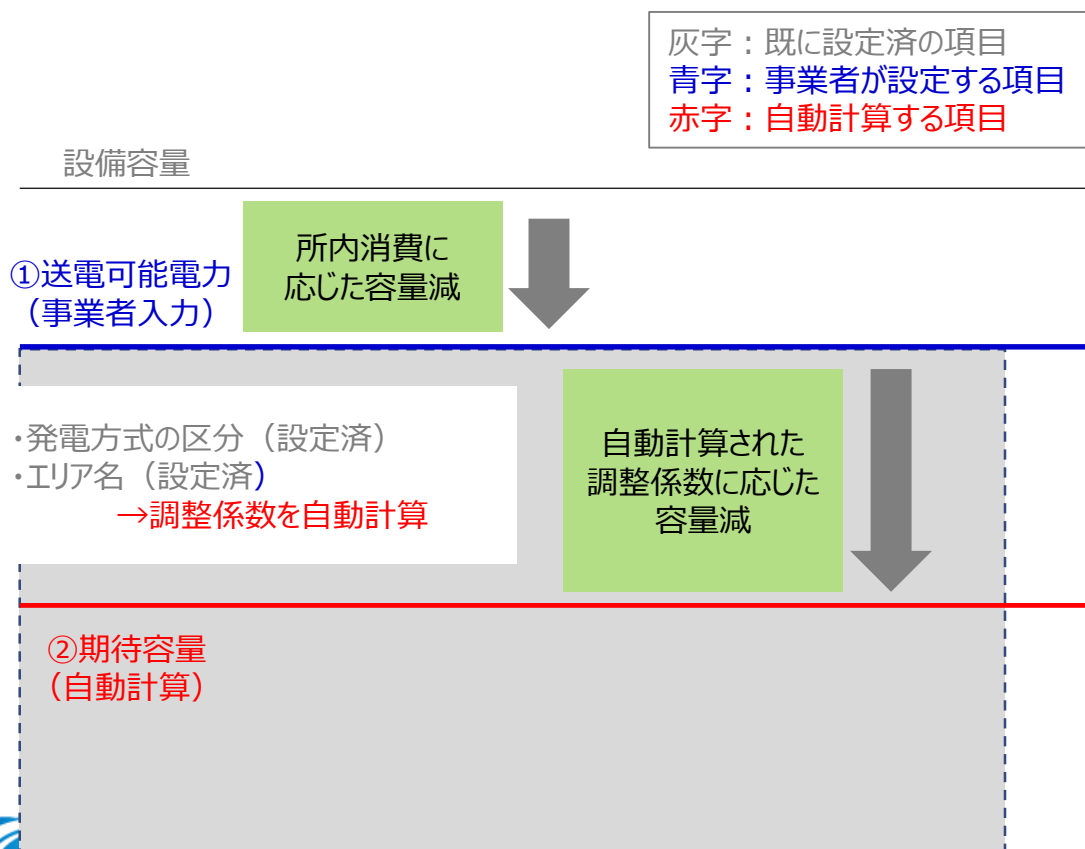
期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
電源等識別番号	XXXXXX				
電源等の区分	安定電源				
発電方式の区分	LNG				
エリア名	3:東京				
設備容量	25万 kW				
各月の供給力の最大値 ①	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量 ②	18万 kW				
提供する各月の供給力	4月	5月	...	2月	3月
応札容量					

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

2. 期待容量の算定方法【変動電源】

- 電源等情報として登録した「発電方式の区分」および「エリア名」から、調整係数（年間一律）が自動計算されます。
- 「送電可能電力」を『期待容量等算定諸元一覧』に設定していただくことにより、期待容量が自動計算されます。
なお、「送電可能電力」については、「設備容量」から「所内消費電力」を差し引いた値を入力して下さい。



期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
電源等識別番号	YYYYYY				
電源等の区分	変動電源				
発電方式の区分	風力				
エリア名	6:関西				
設備容量	10,000 kW				
送電可能電力	① 9,000 kW				
調整係数	25.2%				
各月の供給力の 最大値	4月	5月	...	2月	3月
	1,980	1,350	...	3,420	2,880
期待容量	② 2,268 kW				
提供する各月の 供給力	4月	...	2月	3月	
応札容量					

値は仮です。
調整係数は調整力等委で議論されています。
容量市場向けの調整係数は別途公表します。

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明
(参考) 調整係数に係る議論状況 (再生可能エネルギー)

第43回 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 資料2より抜粋

(2) 再エネ・揚水等の供給力(kW価値)評価【年間評価】
再エネ供給力(kW価値)評価 (各エリア・各再エネの年間評価算定結果)

■ 前ページの手法で各エリア・各再エネ電源種(太陽光、風力、水力)の年間評価を算出した結果は、以下の通り。

凡例 上段：kW価値
下段：調整係数 (kW価値/設備量※)

〔各エリアの年間評価結果〕

[単位：万kW、%]

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
太陽光	8 (3.9%)	78 (11.3%)	139 (9.2%)	115 (12.7%)	19 (14.9%)	77 (12.8%)	81 (13.6%)	42 (15.5%)	64 (6.7%)
風力	18 (24.4%)	60 (32.3%)	9 (24.7%)	10 (27.3%)	5 (19.8%)	5 (25.2%)	9 (19.5%)	10 (32.3%)	16 (21.9%)
水力	46 (48.4%)	151 (64.6%)	136 (57.5%)	113 (48.8%)	80 (61.9%)	152 (54.0%)	39 (50.1%)	19 (56.9%)	58 (45.5%)

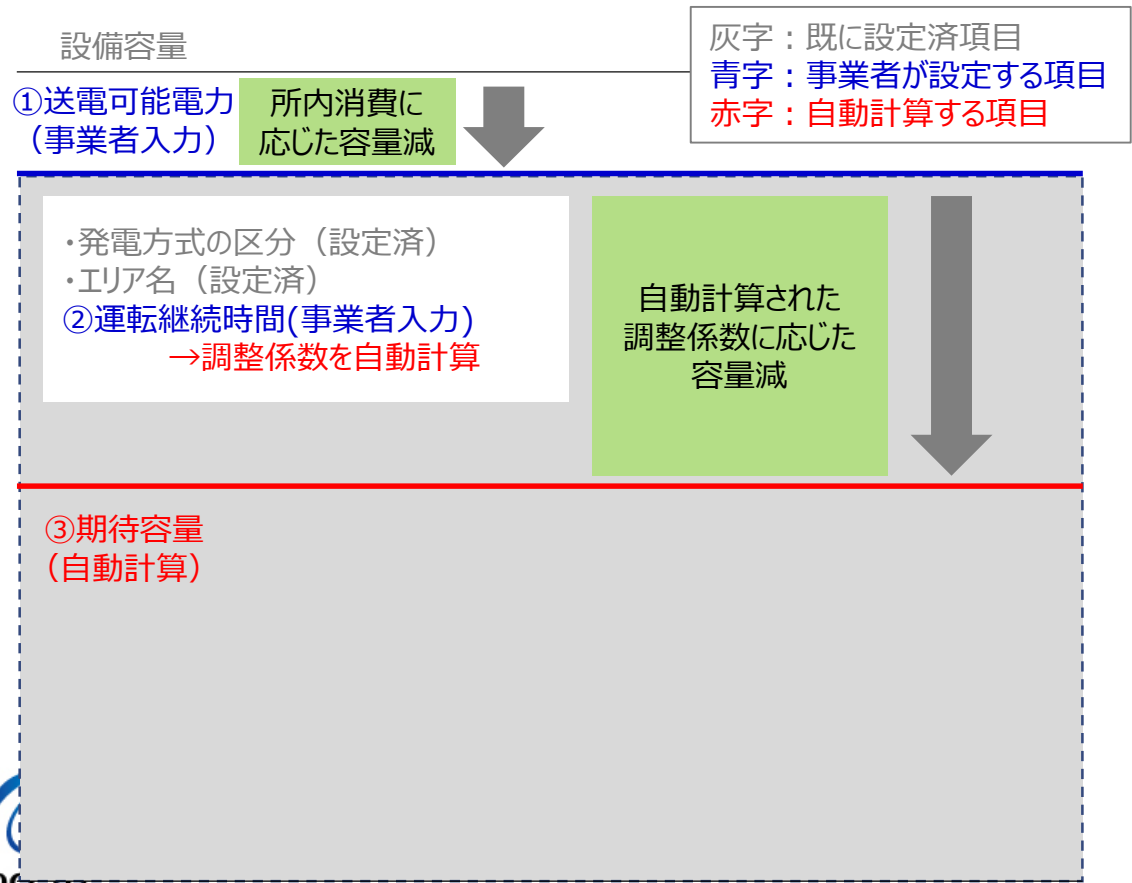
※2019供計の2020年度末値の設備量

※容量市場向けの調整係数は
別途公表します。

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

2. 期待容量の算定方法【安定電源（純揚水）】

- 電源等情報として登録した「発電方式の区分」および「エリア名」に加え、「運転継続時間(期待容量算出用)」を設定していただく事により、調整係数（年間一律）が自動計算されます。なお、「運転継続時間（期待容量算出用）」については、上池が満水位時において最大出力で発電した場合に運転継続が可能な時間を記載して下さい。
- 「送電可能電力」を『期待容量等算定諸元一覧』に設定していただくことにより、期待容量が自動計算されます。なお、「送電可能電力」については、「設備容量」から「所内消費電力」を差し引いた値を入力して下さい。



期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力
電源等識別番号	ZZZZZ
電源等の区分	安定電源
発電方式の区分	純揚水
エリア名	6:関西
設備容量	25万 kW
送電可能電力	① 20万 kW
運転継続時間(期待容量算出用)	② 6 時間
上池容量(期待容量算出用)	120万 kWh
調整係数(期待容量算出用)	77.5%
期待容量	③ 15.5万 kW

(以降省略)

値は仮です。
調整係数は調整力等委で議論されています。
容量市場向けの調整係数は別途公表します。

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明 (参考) 調整係数に係る議論状況 (揚水)

12

(2) 再エネ・揚水等の供給力(kW価値)評価【年間評価】

39

揚水供給力(kW価値)の年間評価方法 (年間最小期待量を上回る供給力)

- 再エネの年間評価と同様に、揚水の年間評価についても、エリア全体での揚水の年間評価に対して、各エリア単位へ各月評価を考慮した年間評価値をもとに按分することで、エリア単位の揚水の年間評価を算定した。

凡例

上段：kW価値
下段：調整係数 (kW価値/設備量※)

〔各エリアの年間評価結果〕

〔単位：万kW、%〕

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
揚水 (8h運転継続時間)	33 (81.9%)	66 (93.1%)	830 (76.2%)	372 (89.6%)	10 (93.8%)	413 (87.5%)	198 (93.7%)	58 (93.9%)	203 (88.7%)

※2019供計の2020年度の設備量

第43回 調整力及び需給バランス評価等に関する委員会 資料2より抜粋

※容量市場向けの調整係数は
別途公表します。

(1) 揚水の供給力(kW価値)【各月評価】 ～運転継続時間毎の評価結果～

17

④中部エリア 設備量：416万kW

運転継続時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8h	73%	90%	95%	98%	98%	96%	96%	89%	85%	85%	85%	85%
6h	65%	83%	87%	95%	92%	87%	91%	84%	75%	73%	75%	77%
4h	55%	69%	71%	81%	77%	72%	76%	72%	61%	60%	62%	65%

⑤北陸エリア 設備量：11万kW

運転継続時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8h	93%	97%	95%	98%	98%	99%	97%	89%	91%	91%	90%	89%
6h	92%	96%	91%	96%	94%	92%	95%	85%	87%	86%	84%	85%
4h	90%	91%	83%	87%	85%	85%	86%	79%	82%	77%	78%	77%

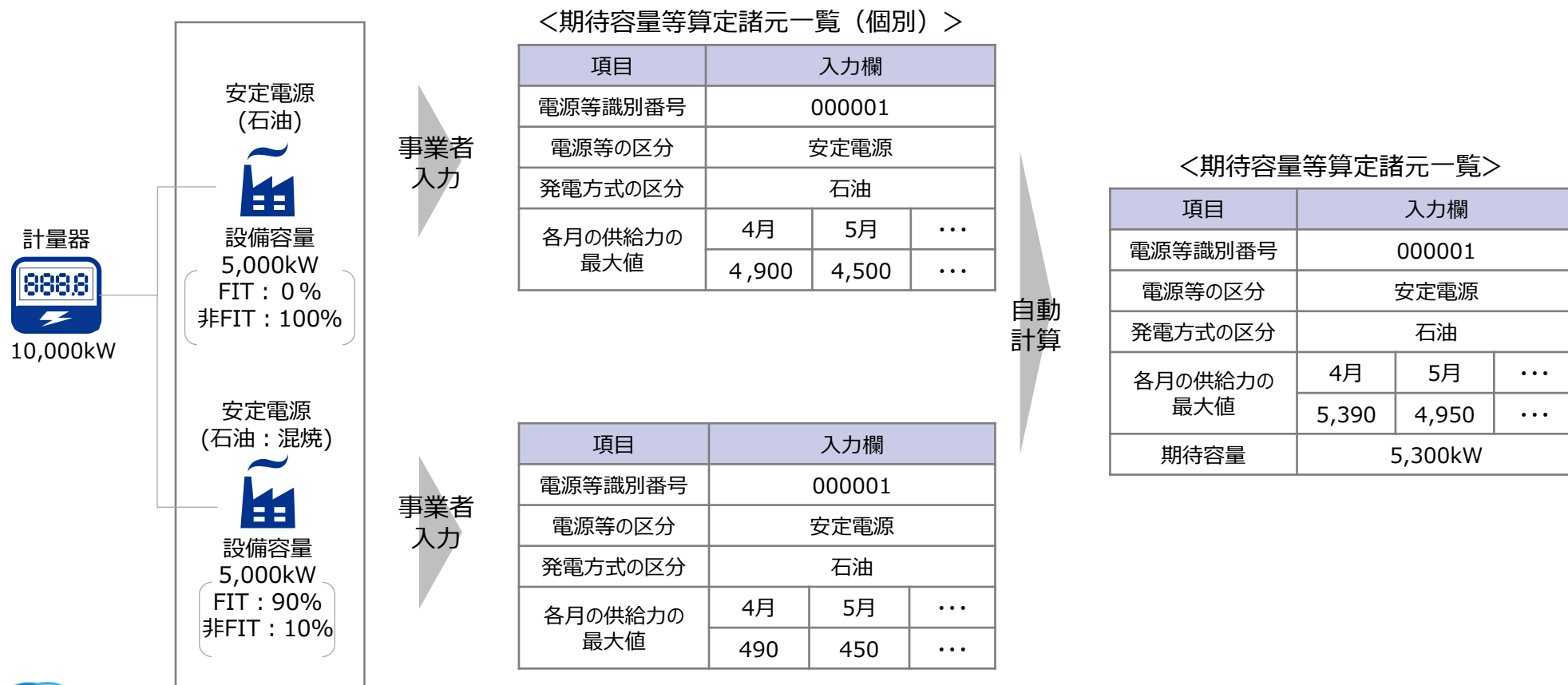
⑥関西エリア 設備量：472万kW※

運転継続時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
8h	75%	69%	94%	98%	98%	99%	96%	88%	83%	84%	84%	82%
6h	68%	62%	77%	96%	93%	89%	77%	75%	74%	73%	73%	73%
4h	57%	53%	61%	79%	77%	73%	63%	61%	61%	58%	60%	61%

※重心水位未考慮の設備量にて算定

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明 (参考) バイオマス混焼のFIT電源の期待容量

- バイオマス混焼のFIT電源（石炭を除く）については、非FIT分に相当する期待容量を算定して下さい。
- 具体的には、バイオマス混焼のFIT電源（石炭を除く）については、各月の供給力から認定にかかるバイオマス比率相当の供給力を差し引いた上で、期待容量を算定して下さい。



(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

(参考) 1 小規模変動電源リストに、異なる発電方式の区分が混在する場合

14

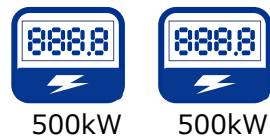
- 「エリア名」を『期待容量等算定諸元一覧』に入力していただくことにより、調整係数が自動計算されます。
- 変動電源（単独）については電源毎に「送電可能電力」を、変動電源（アグリゲート）については発電方式の区分毎に「送電可能電力」の合計値を『期待容量等算定諸元一覧』に入力することにより、期待容量が自動計算されます。

<小規模変動電源リスト> ※kWは設備容量

風力
1,000kW

太陽光
2,000kW

風力 1,000kW



太陽光 2,000kW



事業者
入力

事業者
入力

<期待容量等算定諸元一覧（個別）>

項目	入力欄
電源等識別番号	000001
電源等の区分	変動電源（アグリ）
発電方式の区分	風力
送電可能電力	1,000kW

項目	入力欄
電源等識別番号	000001
電源等の区分	変動電源（アグリ）
発電方式の区分	太陽光
送電可能電力	2,000kW

自動
計算

<期待容量等算定諸元一覧（合計）>

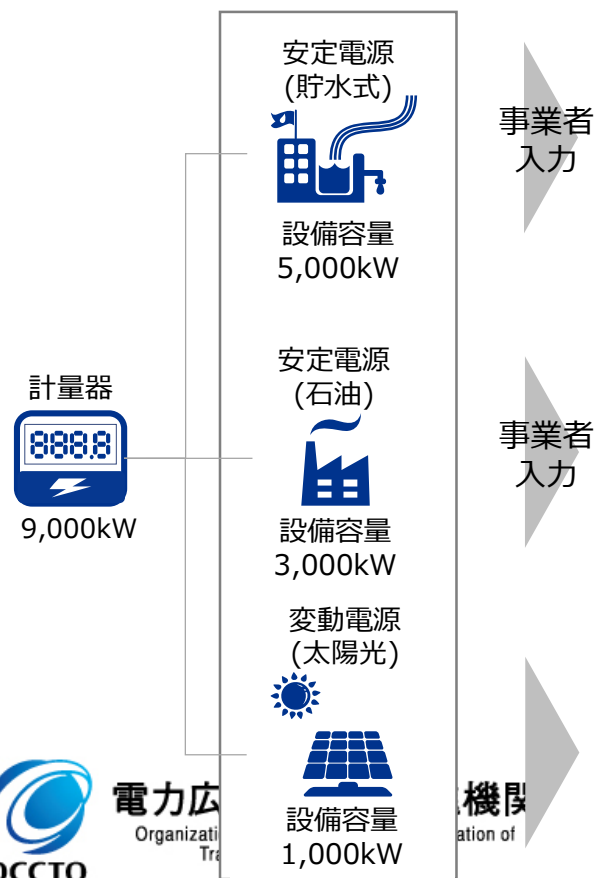
項目	入力欄
電源等識別番号	000001
電源等の区分	変動電源（アグリ）
発電方式の区分	風力、太陽光
送電可能電力	3,000kW
期待容量	2,000kW

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

(参考) 1 計量単位に異なる電源等の区分が混在する場合

- 期待容量については、登録した「容量を提供する電源等の区分」に該当する発電方式の区分毎の「各月の供給力の最大値」の合計を入力することにより、計量単位の期待容量が自動計算されます。
- 電源等情報に登録しなかった「容量を提供する電源等の区分」に該当する電源分については、期待容量を登録することが出来ず容量市場に応札できませんので、ご注意ください。

< 1 計量単位：安定電源を選択した場合 >



< 期待容量等算定諸元一覧 (個別) >

項目	入力欄		
電源等識別番号	000001		
電源等の区分	安定電源		
発電方式の区分	貯水式		
各月の供給力の最大値	4月	5月	...
	3,500	4,800	...

項目	入力欄		
電源等識別番号	000001		
電源等の区分	安定電源		
発電方式の区分	石油		
各月の供給力の最大値	4月	5月	...
	2,700	2,900	...

自動
計算

< 期待容量等算定諸元一覧 >

項目	入力欄		
電源等識別番号	000001		
電源等の区分	安定電源		
発電方式の区分	貯水式・石油		
各月の供給力の最大値	4月	5月	...
	6,200	7,700	...
期待容量	7,600kW		

当該電源分は期待容量を登録することが出来ず応札不可

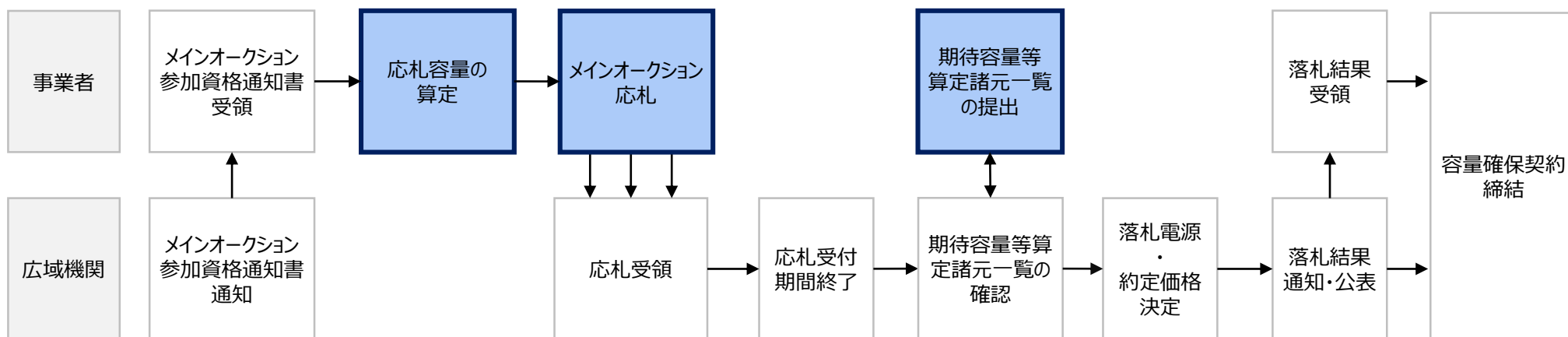
(様式 2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

応札容量の算定

3. 応札容量の算定方法

- 期待容量の範囲内で、任意の応札容量（年間一律）を設定することが可能です。この際、補修等に伴う出力減少分は差し引きません。
- 安定電源・変動電源の参加登録申請者は、『期待容量等算定諸元一覧』を利用して算定した応札容量を容量市場システムに登録してください。（応札受付期間：2020年7月1日～7日）
- また応札容量算定時に利用した『期待容量等算定諸元一覧』は、容量市場システムに登録して下さい。（登録受付：～2020年7月9日）※応札した全ての安定電源・変動電源について登録が必要です
- 登録された『期待容量等算定諸元一覧』と応札容量の不整合が解消されない場合や、『期待容量等算定諸元一覧』が提出されない場合等には、容量確保契約の解約（市場退出）となる場合があります。

【凡例】  本資料での説明対象

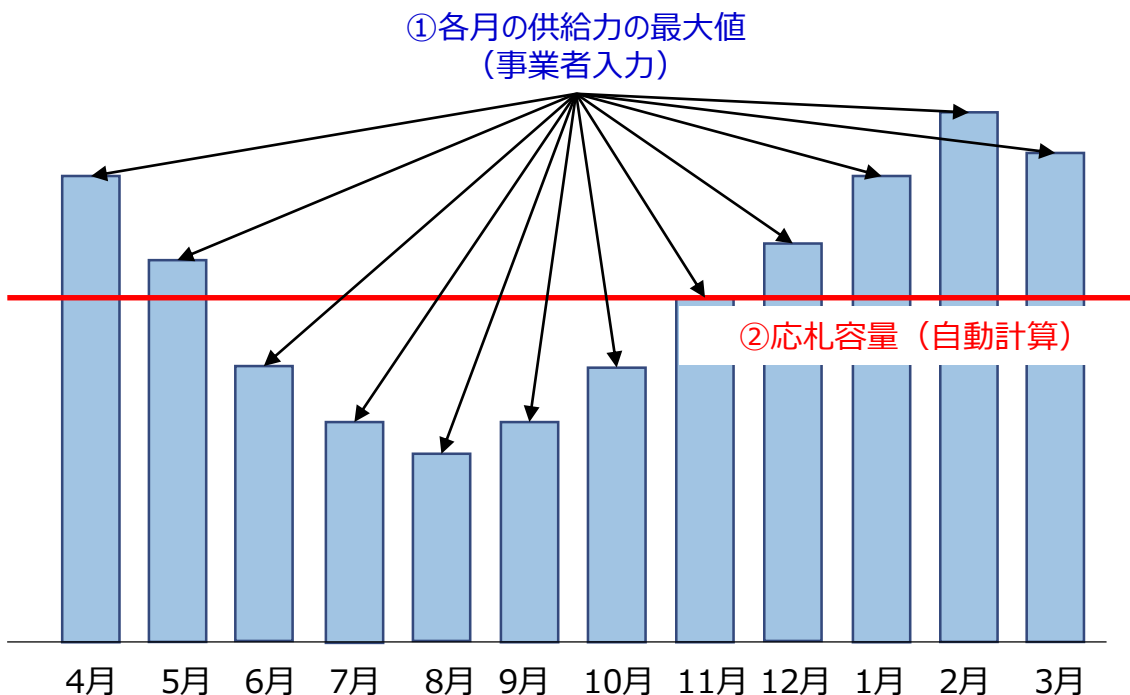


(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明 3. 応札容量の算定方法【安定電源(純揚水を除く)】(期待容量 = 応札容量の場合)

18

- 期待容量の算定時に入力した「各月の供給力の最大値」の範囲内で、「提供する各月の供給力」を設定することができます。
- 「提供する各月の供給力」を「各月の供給力の最大値」と等しい値で応札する場合、以下ようになります。

灰字：既に設定済項目
 青字：事業者が設定する項目
 赤字：自動計算する項目



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
電源等識別番号	XXXXXX				
電源等の区分	安定電源				
発電方式の区分	LNG				
エリア名	3:東京				
設備容量	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	18万 kW				
提供する各月の供給力	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
応札容量	18万 kW				

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

3. 応札容量の算定方法【安定電源(純揚水を除く)】(期待容量>応札容量の場合)

19

- 期待容量の算定時に入力した「各月の供給力の最大値」の範囲内で、「提供する各月の供給力」を設定することができます。
- 「提供する各月の供給力」を設定することにより、応札容量が自動計算されます。

①各月の供給力の最大値
(事業者入力)

灰字：既に設定済項目
青字：事業者が設定する項目
赤字：自動計算する項目

期待容量
(登録済)

②応札容量 (自動計算)

期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

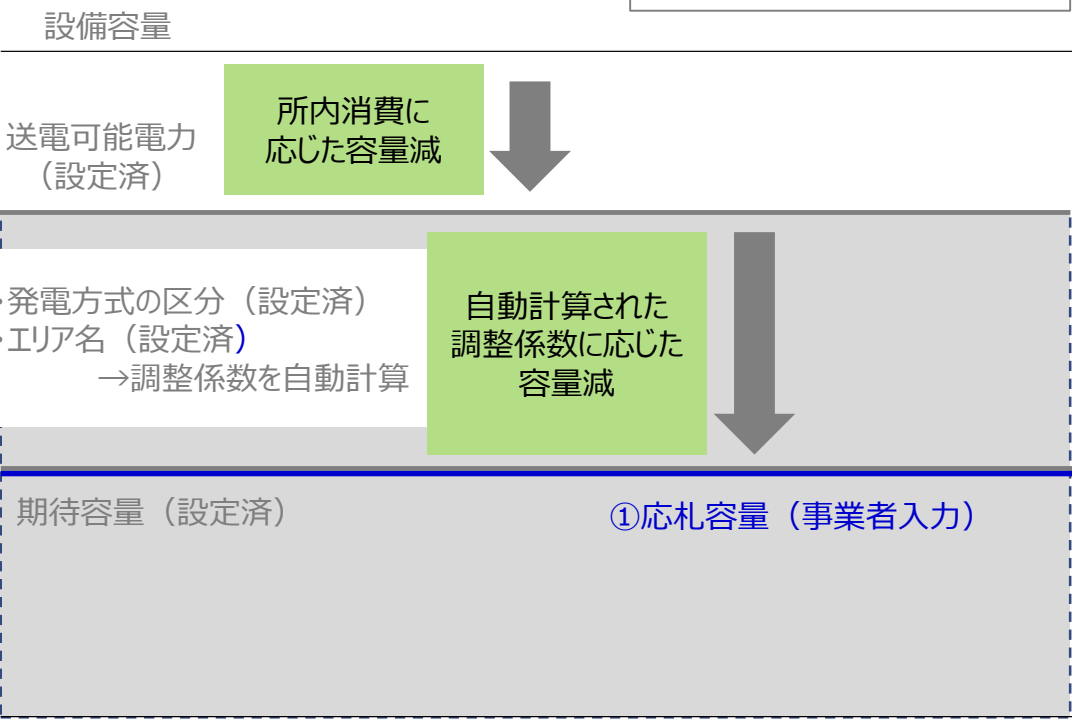
項目	事業者入力				
電源等識別番号	XXXXXX				
電源等の区分	安定電源				
発電方式の区分	LNG				
エリア名	3:東京				
設備容量	25万 kW				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	18万 kW				
提供する各月の供給力	4月	5月	...	2月	3月
	15万	13万	...	18万	17万
①					
② 応札容量	12万 kW				

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

3. 応札容量の算定方法【変動電源】（期待容量＝応札容量の場合）

- 期待容量の範囲内で、応札容量を設定することができます。
- 期待容量と等しい値で応札する場合、以下ようになります。

灰字：既に設定済の項目
青字：事業者が設定する項目
赤字：自動計算する項目



期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力				
電源等識別番号	YYYYYY				
電源等の区分	変動電源				
発電方式の区分	風力				
エリア名	6:関西				
設備容量	10,000 kW				
送電可能電力	9,000 kW				
調整係数	25.2%				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	1,980	1,350	...	3,420	2,880
期待容量	2,268 kW				
提供する各月の供給力	4月	5月	...	2月	3月
	1,980	1,350	...	3,420	2,880
応札容量	① 2,268 kW				

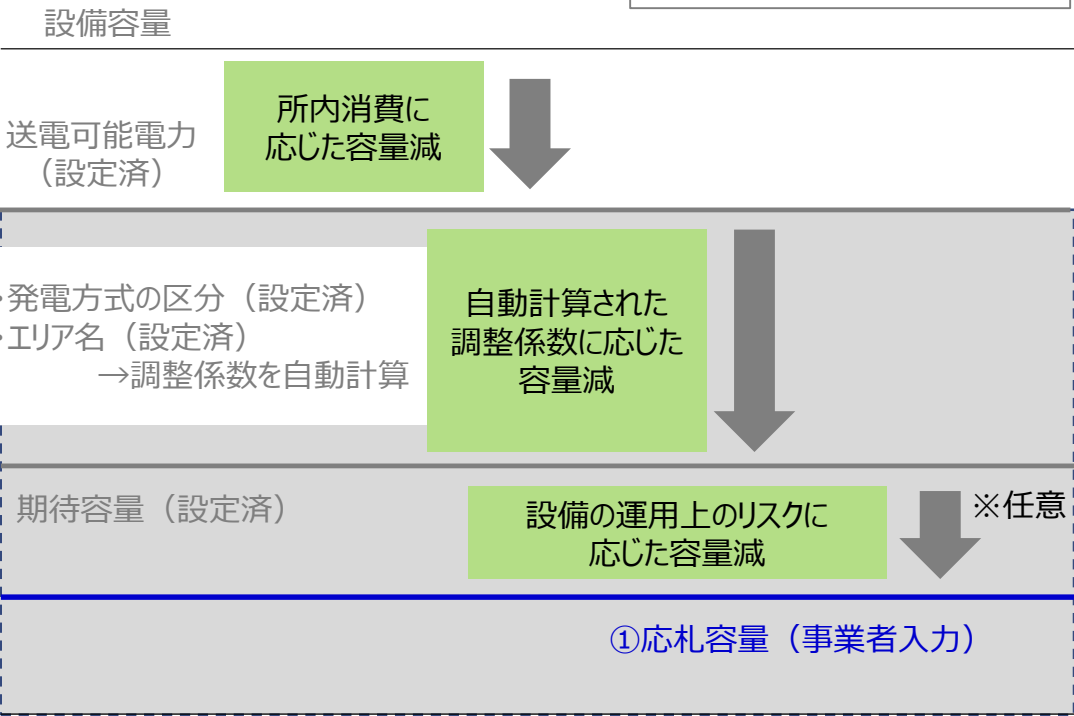
値は仮です。
調整係数は調整力等委で議論されています。
容量市場向けの調整係数は別途公表します。

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

3. 応札容量の算定方法【変動電源】(期待容量> 応札容量の場合)

- 期待容量の範囲内で、応札容量を設定することができます。
- 期待容量から減じた値で応札する場合、以下のようになります。

灰字：既に設定済の項目
青字：事業者が設定する項目
赤字：自動計算する項目



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

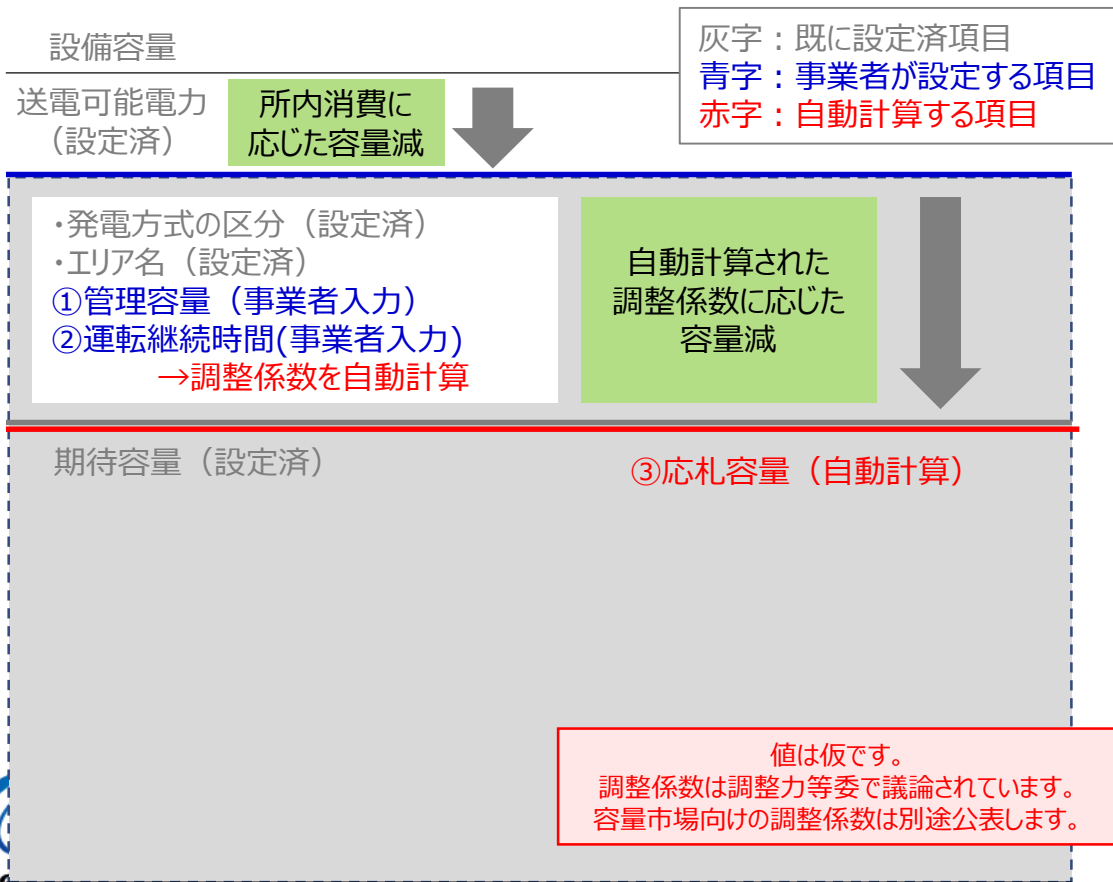
項目	事業者入力				
電源等識別番号	YYYYYY				
電源等の区分	変動電源				
発電方式の区分	風力				
エリア名	6:関西				
設備容量	10,000 kW				
送電可能電力	9,000 kW				
調整係数	25.2%				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	1,980	1,350	...	3,420	2,880
期待容量	2,268 kW				
提供する各月の供給力	4月	5月	...	2月	3月
	990	675	...	1,710	1,440
応札容量	① 1,134 kW				

値は仮です。
調整係数は調整力等委で議論されています。
容量市場向けの調整係数は別途公表します。

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

3. 応札容量の算定方法【安定電源（純揚水）】（期待容量＝応札容量の場合）

- 「管理容量」および「運転継続時間(応札容量算出用)」を設定いただくことにより、応札容量が自動計算されます。なお「管理容量」については、ダム運用のリスクを踏まえ、送電可能電力を上限に設定してください。
- 期待容量と等しい値で応札する場合、以下ようになります。



期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

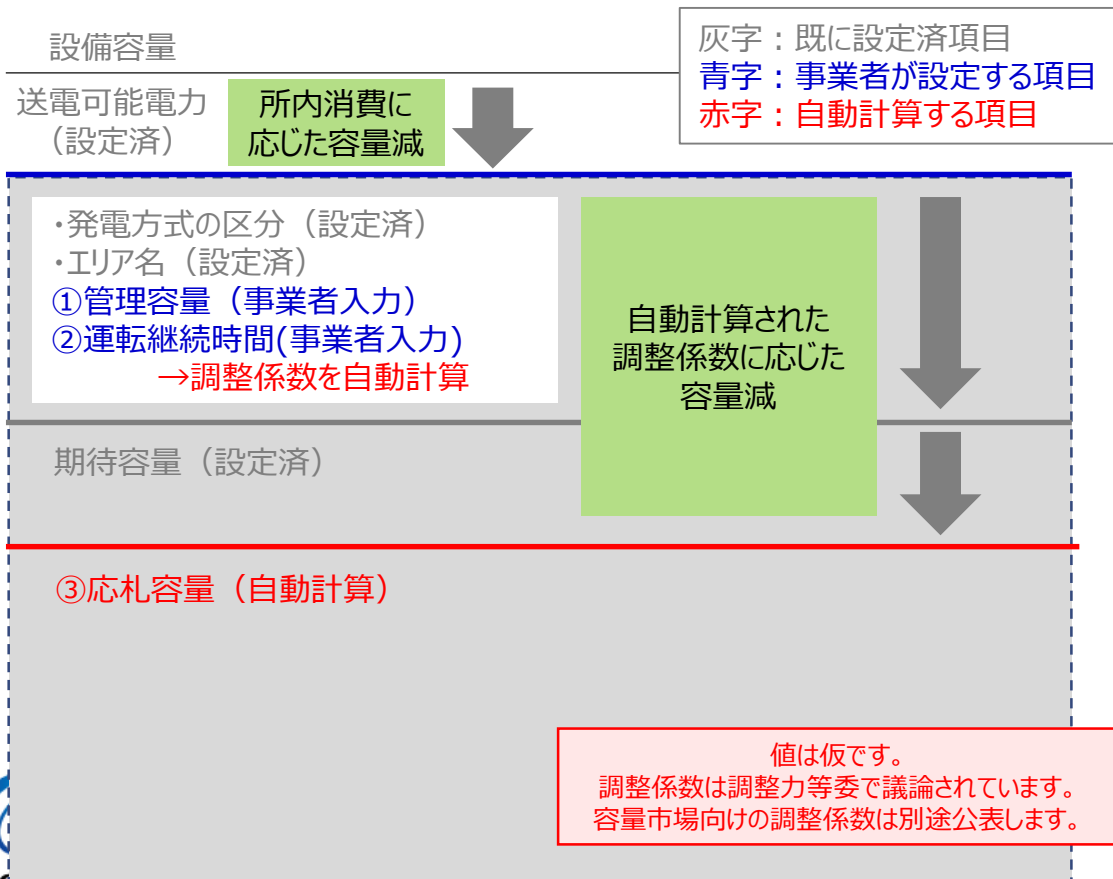
項目	事業者入力
電源等識別番号	ZZZZZ
電源等の区分	安定電源
発電方式の区分	純揚水
エリア名	6:関西
設備容量	25万 kW
送電可能電力	20万 kW
運転継続時間(期待容量算出用)	6 時間
上池容量(期待容量算出用)	120万 kWh
調整係数(期待容量算出用)	77.5%
期待容量	15.5万 kW
管理容量	① 20.0万 kW
運転継続時間(応札容量算出用)	② 6 時間
上池容量(応札容量算出用)	120万 kWh
調整係数(応札容量算出用)	77.5%
応札容量	③ 15.5万 kW

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

3. 応札容量の算定方法【安定電源（純揚水）】（期待容量＞応札容量の場合）

- 「管理容量」および「運転継続時間(応札容量算出用)」を設定いただくことにより、応札容量が自動計算されます。
なお「管理容量」については、ダム運用のリスクを踏まえ、送電可能電力を上限に設定してください。
- 期待容量から減じた値で応札する場合、入力した「管理容量」と「運転継続時間(応札容量算出用)」の積が、期待容量の算定時に自動計算された「上池容量(期待容量算出用)」を超えないように、して下さい。

期待容量等算定諸元一覧（イメージ）



項目	事業者入力
電源等識別番号	ZZZZZ
電源等の区分	安定電源
発電方式の区分	純揚水
エリア名	6:関西
設備容量	25万 kW
送電可能電力	20万 kW
運転継続時間(期待容量算出用)	6 時間
上池容量(期待容量算出用)	120万 kWh
調整係数(期待容量算出用)	77.5%
期待容量	15.5万 kW
管理容量	① 15万 kW
運転継続時間(応札容量算出用)	② 8時間
上池容量(応札容量算出用)	120万 kWh
調整係数(応札容量算出用)	87.5%
応札容量	③ 13.1万 kW

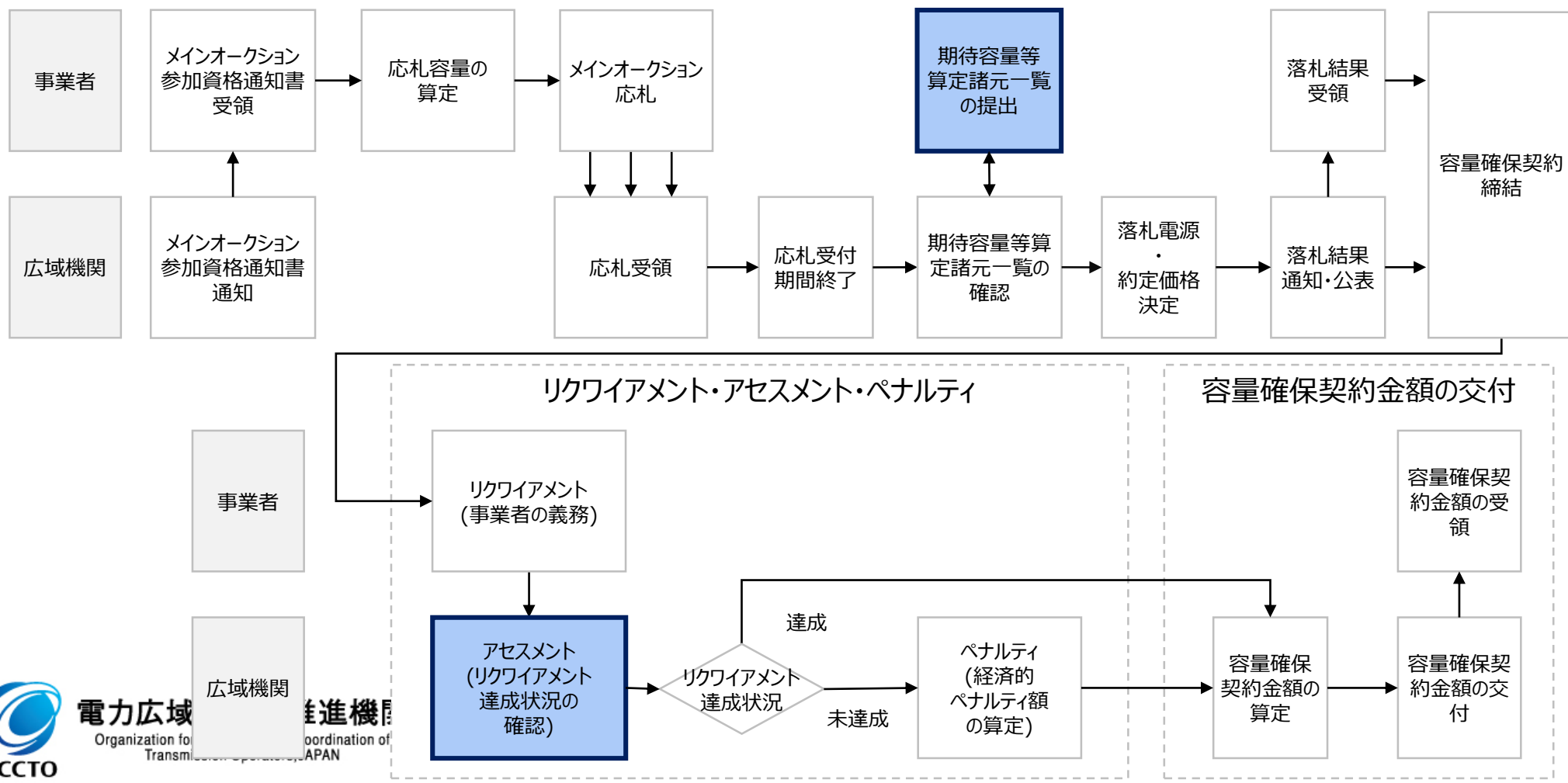
(様式 2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

アセスメント対象容量について

4. アセスメント対象容量

- 広域機関がリクワイアメントの達成状況を確認する際に利用するアセスメント対象容量については、応札容量の算定時に利用し、容量システムに登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている値を用います。

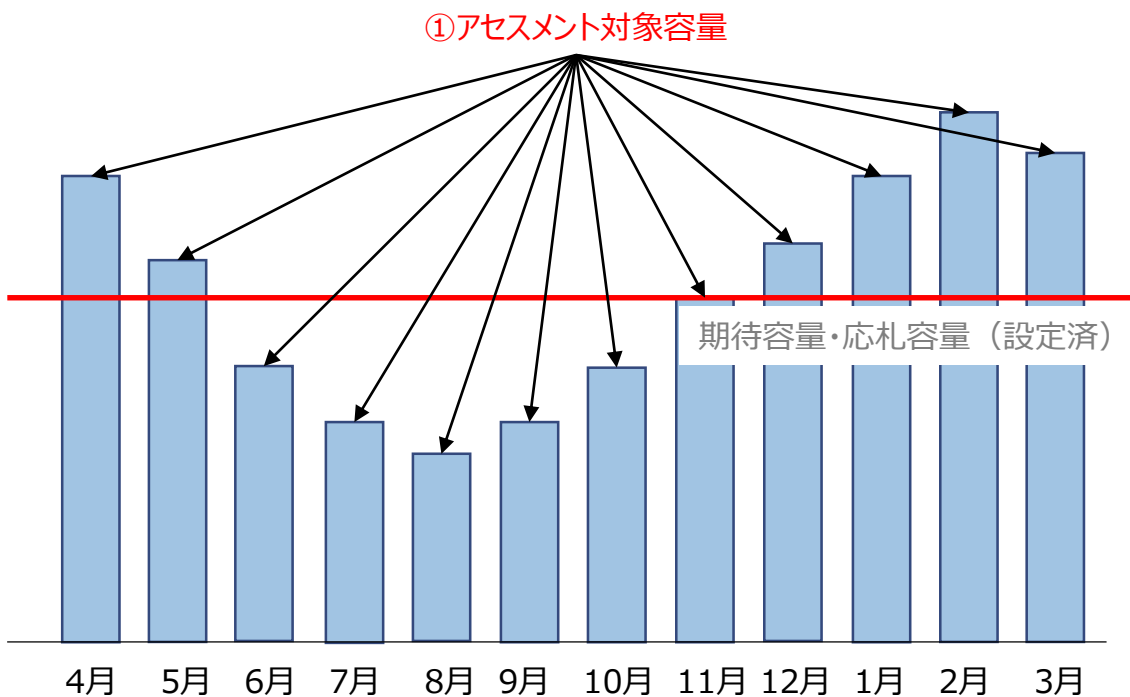
【凡例】 期待容量等算定諸元一覧の提出 本資料での説明対象



(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

4. アセスメント対象容量【安定電源(純揚水を除く)】(期待容量 = 応札容量の場合)

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の供給力」がアセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は、月毎に設定されます。



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

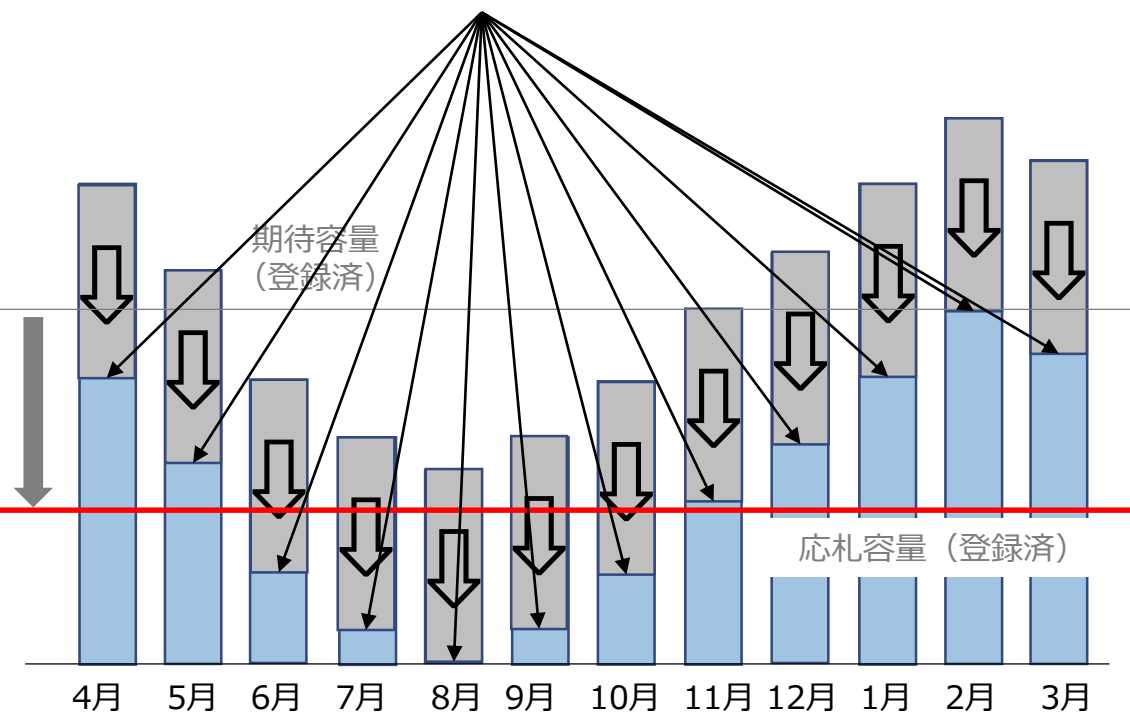
項目	事業者入力				
電源等識別番号	XXXXXX				
電源等の区分	安定電源				
発電方式の区分	LNG				
エリア名	3:東京				
設備容量	25万 kW				
各月の供給力の 最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	18万 kW				
提供する各月の 供給力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
応札容量	18万 kW				

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

4. アセスメント対象容量【安定電源(純揚水を除く)】(期待容量> 応札容量の場合)

- 応札時に登録した『期待容量等算定諸元一覧』に記載されている「提供する各月の供給力」がアセスメント対象容量となります。
- アセスメント対象容量は、月毎に設定されます。

①アセスメント対象容量



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

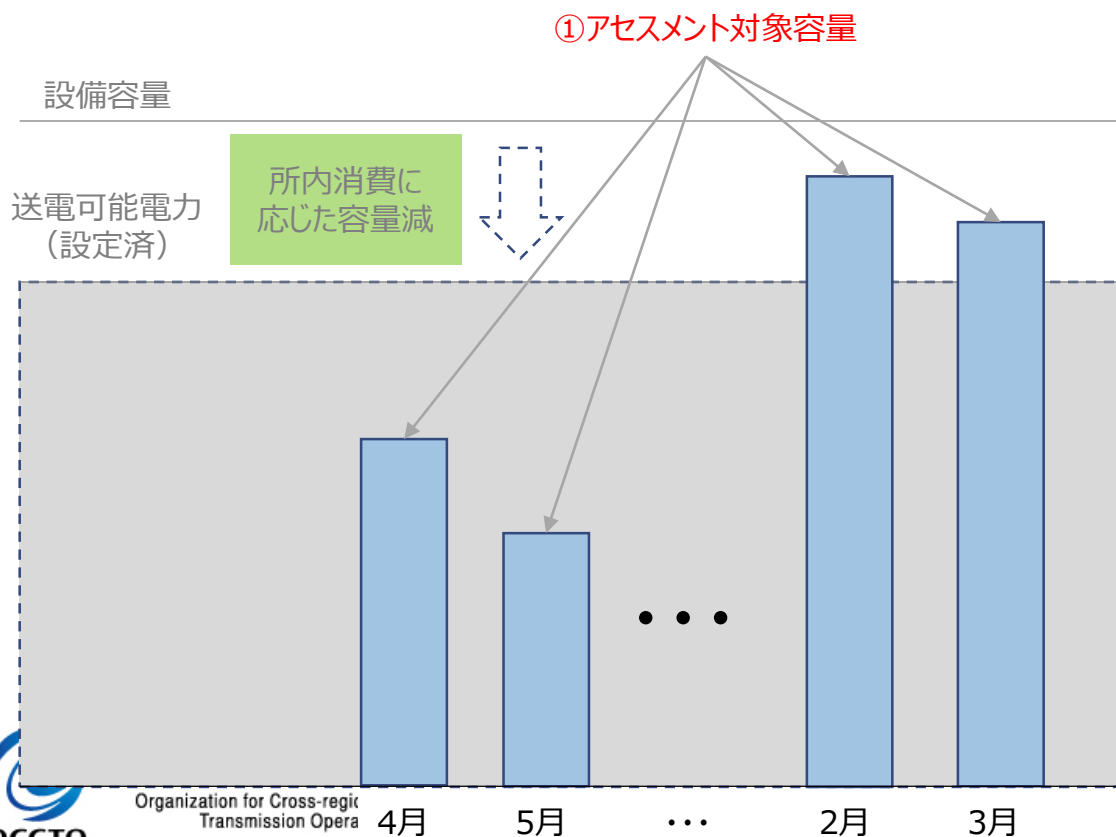
項目	事業者入力				
電源等識別番号	XXXXXX				
電源等の区分	安定電源				
発電方式の区分	LNG				
エリア名	3:東京				
設備容量	25万 kW				
各月の供給力の 最大値	4月	5月	...	2月	3月
	21万	19万	...	24万	23万
期待容量	18万 kW				
提供する各月の 供給力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	15万	13万	...	18万	17万
応札容量	12万 kW				

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

4. アセスメント対象容量【変動電源】(期待容量＝応札容量の場合)

28

- アセスメント対象容量は、各月の調整係数と「送電可能電力」の積により自動計算されます。
- 各月の調整係数については、「発電方式の区分」および「エリア名」により自動計算されます。
- アセスメント対象容量は、月毎に設定されます。



期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力				
電源等識別番号	YYYYYY				
電源等の区分	変動電源				
発電方式の区分	風力				
エリア名	6:関西				
設備容量	10,000 kW				
送電可能電力	9,000 kW				
調整係数	25.2%				
各月の供給力の最大値	4月	5月	...	2月	3月
	1,980	1,350	...	3,420	2,880
期待容量	2,268 kW				
提供する各月の供給力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	1,980	1,350	...	3,420	2,880
応札容量	2,268 kW				

(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

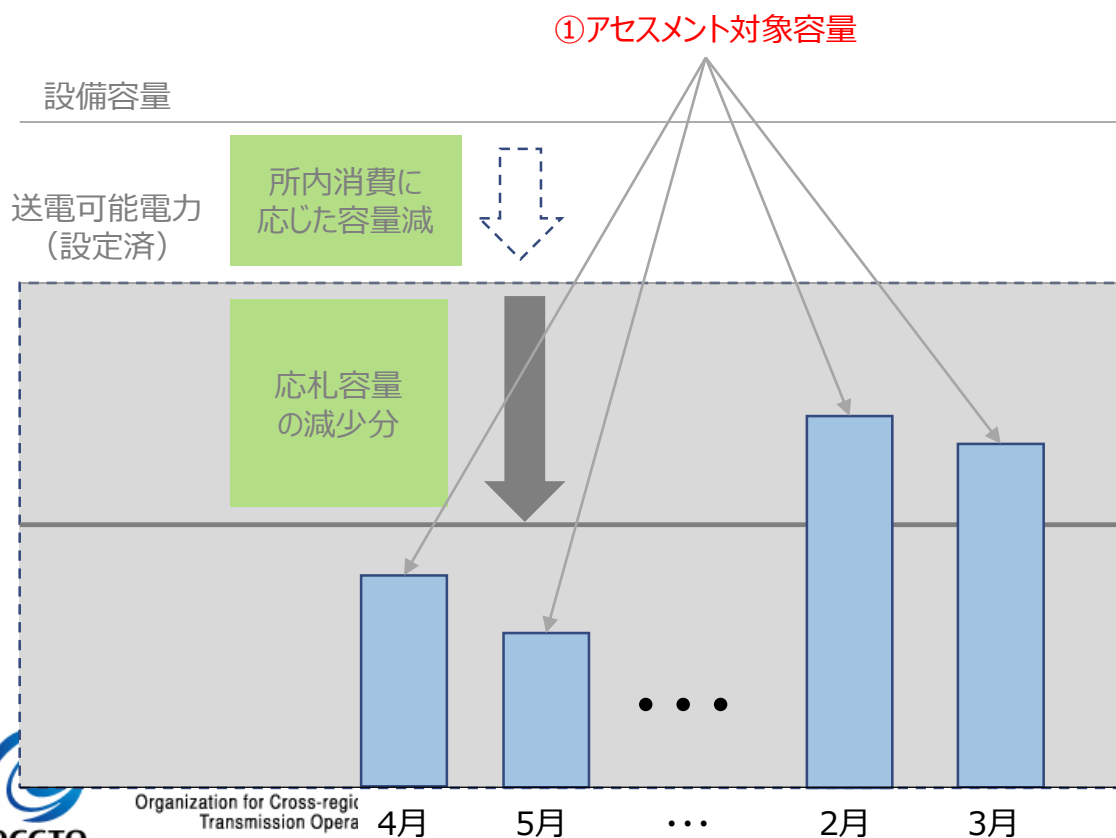
4. アセスメント対象容量【変動電源】(期待容量> 応札容量の場合)

29

- アセスメント対象容量は、各月の調整係数と「送電可能電力」の積に、期待容量と応札容量の比を乗じて計算されます。
- 各月の調整係数については、「発電方式の区分」および「エリア名」により自動計算されます。
- アセスメント対象容量は、月毎に設定されます。

期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

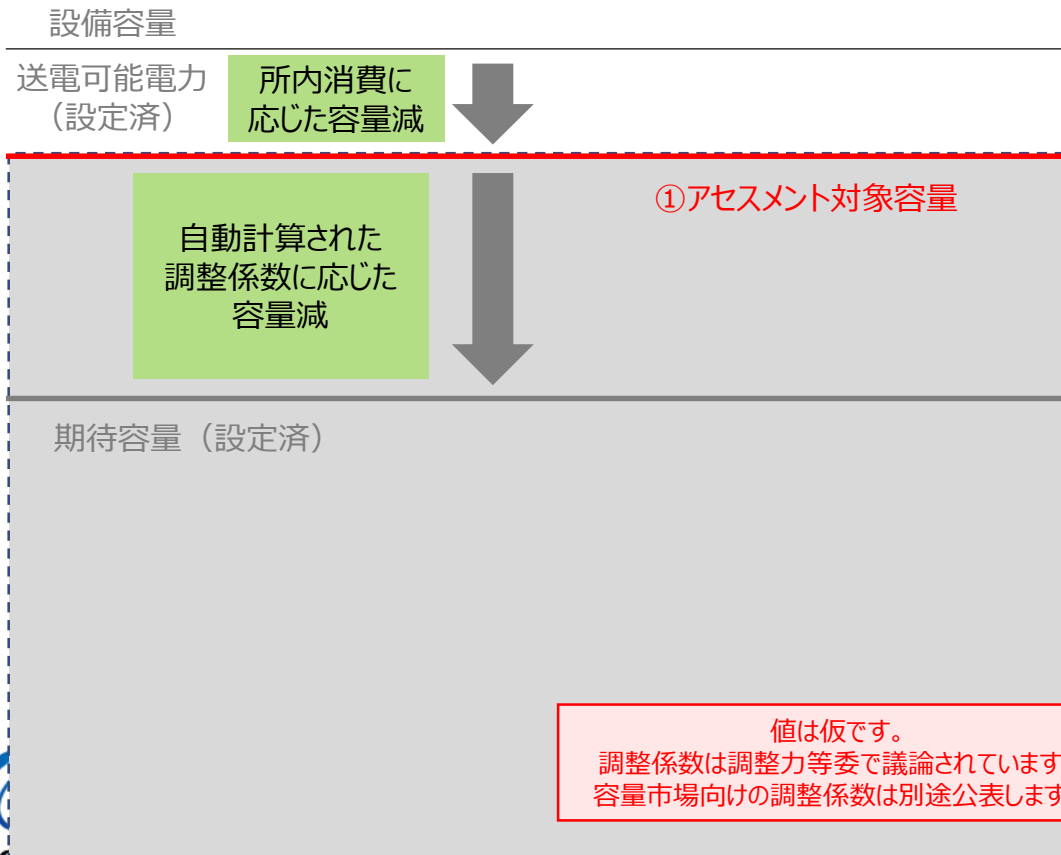
項目	事業者入力				
電源等識別番号	YYYYYY				
電源等の区分	変動電源				
発電方式の区分	風力				
エリア名	6:関西				
設備容量	10,000 kW				
送電可能電力	9,000 kW				
調整係数	25.2%				
各月の供給力の 最大値	4月	5月	...	2月	3月
	1,980	1,350	...	3,420	2,880
期待容量	2,268 kW				
提供する各月の 供給力 ①	4月	5月	...	2月	3月
	990	675	...	1,710	1,440
応札容量	1,134 kW				



(様式2) 期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

4. アセスメント対象容量【安定電源(純揚水)】(期待容量 = 応札容量の場合)

- 期待容量と等しい値で応札した場合、応札容量の算定時に設定した管理容量がアセスメント対象容量になります。
- アセスメント対象容量は、年間一律で設定されます。



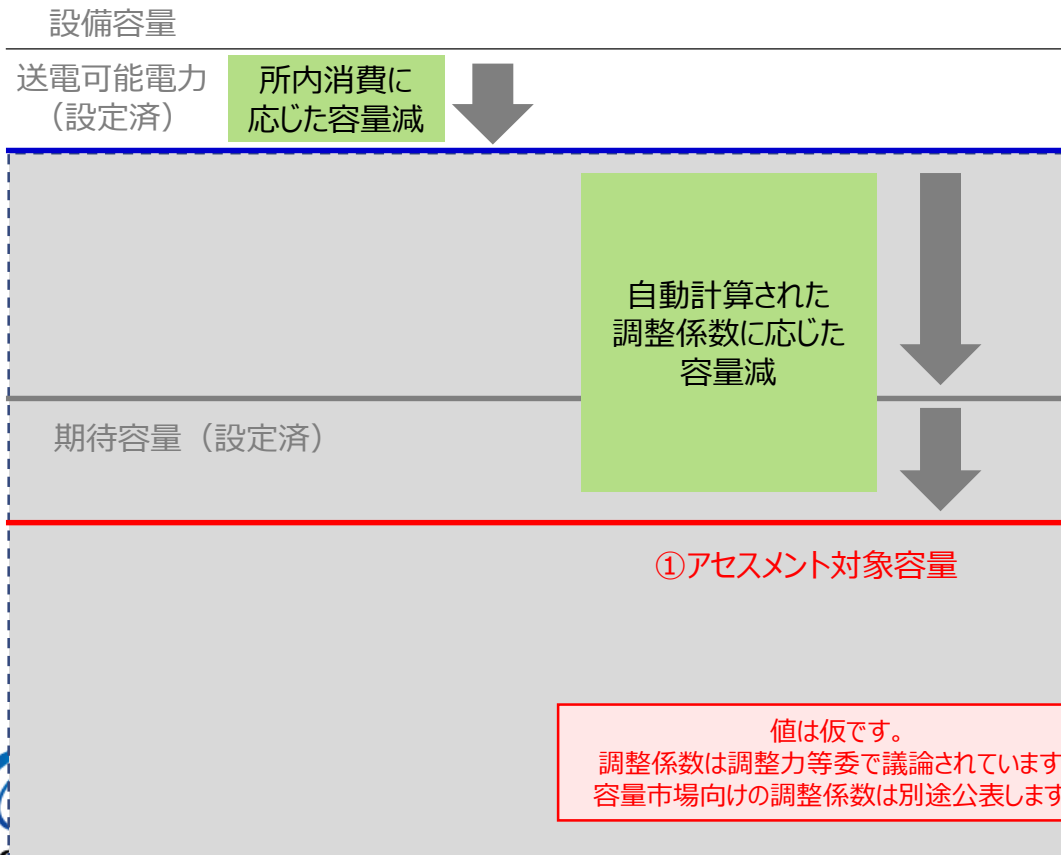
期待容量等算定諸元一覧 (イメージ)

項目	事業者入力
電源等識別番号	ZZZZZ
電源等の区分	安定電源
発電方式の区分	純揚水
エリア名	6:関西
設備容量	25万 kW
送電可能電力	20万 kW
運転継続時間(期待容量算出用)	6 時間
上池容量(期待容量算出用)	120万 kWh
調整係数(期待容量算出用)	77.5%
期待容量	15.5万 kW
管理容量	① 20.0万 kW
運転継続時間(応札容量算出用)	6 時間
上池容量(応札容量算出用)	120万 kWh
調整係数(応札容量算出用)	77.5%
応札容量	15.5万 kW

（様式2）期待容量等算定諸元一覧についての補足説明

4. アセスメント対象容量【安定電源(純揚水)】（期待容量＞ 応札容量の場合）

- 期待容量から減じて応札した場合、応札容量の算定時に設定した管理容量がアセスメント対象容量になります。
- アセスメント対象容量は、年間一律で設定されます。



期待容量等算定諸元一覧（イメージ）

項目	事業者入力
電源等識別番号	ZZZZZ
電源等の区分	安定電源
発電方式の区分	純揚水
エリア名	6:関西
設備容量	25万 kW
送電可能電力	20万 kW
運転継続時間(期待容量算出用)	6 時間
上池容量(期待容量算出用)	120万 kWh
調整係数(期待容量算出用)	77.5%
期待容量	15.5万 kW
管理容量	① 15万 kW
運転継続時間(応札容量算出用)	8時間
上池容量(応札容量算出用)	120万 kWh
調整係数(応札容量算出用)	87.5%
応札容量	13.1万 kW

5. その他

- 『期待容量等算定諸元一覧』については、エクセル版を公表する予定です。容量市場に応札する際には、エクセル版『期待容量等算定諸元一覧』をダウンロードして使用して下さい。
- 参加登録申請者が『期待容量等算定諸元一覧』を容量市場システムに提出する場合、ファイル名を以下のとおり設定して下さい。なお、『期待容量等算定諸元一覧』については、①期待容量の登録時および②応札期間終了後に提出していただきますので、ファイル名にご注意ください。

<期待容量提出時>

ファイル名「エリア_期待容量_電源等識別番号.xlsx」としてください。

例) 東京_期待容量_0123456789.xlsx

<応札容量提出時>

ファイル名「エリア_応札容量_電源等識別番号.xlsx」としてください。

例) 東京_応札容量_0123456789.xlsx